



しらさぎ No. 2

足立区立谷中中学校 発行日：令和6年4月20日

教育目標

- ・自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心をもつ生徒
- ・たくましく生きる生徒

「おはようございます」爽やかな声が校門に響きます。15日より一週間あいさつ運動を行いました。ご多用のところ、ご参加いただいた「みつわ会」の皆様、ありがとうございました。生徒の様子を見守っていただき、感謝申し上げます。さて、今号では、全校朝礼で生徒に話した概要を紹介いたします。

全校朝礼のお話

今日も皆さんの態度とてもよいですね。みんな体をこちらに向けて、目で、そして心で話が聞けるってすごいなと思います。1年生も先輩方を見習って自然にできているところ、とても素晴らしいです。今日は「み・そ・あ・じ・言」（注1）という伝統のキャッチフレーズに加え、「千客万来、開き・深め・発信する谷中中学校」という新しいキャッチフレーズについてお話しします。

この1週間、皆さんが頑張っている姿をたくさん見えています。皆さんは気付いていないかもしれませんが、例えば昇降口の靴箱の整理など、とてもよくできているなと思います。また、生活委員の生徒も、先生に言われなくても、朝の挨拶当番に自発的に来てくれていること、とっても立派だなと思います。「み・そ・あ・じ・言」の「心」が、ここにも息づいているのだと思います。

様々な制限を余儀なくされたコロナ禍がほぼ終息した現在、皆さんが友達や先生、地域の方々と関わりながら、自分を高めていく機会が訪れています。ぜひ心を開いて、いろいろな方々と積極的に関わっていきましょう。その中で、学校の学びが実社会でどう生かされているのかを体験的に感じる事ができると思います。学ぶ意義や目的を理解し、深く考え、様々な方々と関わる中で、**広げ、深めた自分自身の考え、皆さんの考えを積極的に発信**してもらいたいと考えています。先生もこんなに素晴らしい谷中の子どもたちのそれぞれの良さや特徴を、広く発信していこうと思います。

もうひとつの視点は去年からのキャッチフレーズ「**心理的安全性を高め、いじめゼロ、学校満足度 100%**」に向けた側面です。人と関わるからこそ自分を大切にできます。そして他の人に対しても同様に大切にできます。そのような相手がいるからこそ、相手の立場を考えたり、伝え方を工夫したりと、**相手意識をもって接**することができます。さらにふだんから接する仲のよい友達だけでなく、先生方や保護者の方、地域の方々など、**多様な方々と関わり、様々な角度から物事を捉える**ことで、今まで気付かなかった自分自身や友達、谷中中の良さにも、あらためて気付くことがあると思います。このようにして皆さんに心地よい居場所があり、互いに認め合い、安心して、正々堂々と自信をもって自分の考えを表現したり発信したりできる素晴らしい学校を、保護者や地域の方々の支えの下、先生方と一緒に創り上げていきましょう。

注1 「みだしなみ・そうじ・あいさつ・じかん・ことばづかい」の頭文字をとったキャッチフレーズ

ひ・と・こ・と

この概要は、朝礼での話を録音し、クロームブックに格納されている文書作成アプリケーションの音声入力機能を用いて文字を起こし、区に使用許可を得た生成AIを用いて要約したものです。私も生成AIには不慣れなため、AIが作成した文章には私の意図と異なる部分もあり、少々修正はしましたが、やはりゼロから作成するよりは、はるかに効率的でした。

今後も授業や校務など、目的や場面に応じて積極的にICT機器を活用し、**分かりやすく、達成感のある授業づくりや、先生方の作業時間短縮**など働きやすい職場環境づくりに取り組みたいと思います。

(谷中中学校長 三輪政継)

学校日記など、谷中中ホームページ更新中！ぜひ一度ご覧ください！！

